

徳島県環境白書の刊行に当たって

世界中で、異常気象や生態系の変化などが現実のものとなり、地球温暖化をはじめとする環境問題への対策は待ったなしの状態にあります。今を生きる私たちには、この美しい地球を、より美しい姿で未来に引き継いでいくため、最大限の力を注ぎ、真正面から環境対策に取り組んでいく責任があります。

去年は、千年に一度とも言われる「東日本大震災」によって未曾有の被害に遭遇したほか、相次ぐ台風やゲリラ豪雨などの災害により、あらためて、自然の猛威を実感しました。また、大震災に伴う「福島第一原子力発電所事故」により、放射能汚染への懸念が強まる一方、「限りあるエネルギー」への意識が高まり、改めて「エネルギーの安定供給」や「省エネ社会の実現」が国民的課題となりました。

本県においては、環境に優しい「21世紀の光源・LED」や「リチウムイオン蓄電池」の世界最大級の生産拠点を有するとともに、全国屈指の日照時間や、小さい急流の河川、豊富な森林資源といった「自然エネルギーの宝庫」である強みを活かし、風力や小水力発電をはじめとする「創エネ」のほか、リチウムイオン電池による「蓄エネ」、LED照明に代表される「省エネ」の「環境配慮型社会の構築」に全力で取り組んできました。

また、昨年8月に「環境の世紀をリードする低炭素社会とくしま」の実現を目指した「徳島県地球温暖化対策推進計画」を、本年3月には、自然エネルギー資源を最大限活用する「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」を策定し、「ライフスタイルの転換」を含めた「省エネ運動」を展開するとともに、「エネルギーの地産地消」、「災害に強いまちづくり」の実現に向け、県民、事業者、行政等が力を合わせ、挙県一致で取り組んでいるところです。

さらに、自然保護団体や地域住民の皆様の参画を得て、「本県の生態系の特性」を活かした「生物多様性とくしま戦略」の策定に向けた検討を進めているところであり、これまでも増して、「人と自然の調和」を目指した施策を総合的に推進して参ります。

こうした様々な取組みを効果的に展開し、本県が地球環境に優しい社会づくりをリードする世界に誇る「環境首都・先進とくしま」を実現していくためには、県民・事業者・民間団体の皆様の主体的な取組みが必要不可欠であります。本書を通じ、県民の皆様が本県の環境問題に対し認識を深めていただき、環境の保全・創造の取組みをさらに進めるための一助となれば幸いです。

平成24年3月

徳島県知事 飯泉 嘉門